

町民と農家をつなぐ広報誌

INA Agri Channel

by Studio Agri

Vol.07

2026
Spring

Connecting townspeople and farmers
public relations magazine

「特集」土木魂、農業へ





異業種 参入の その後

entry into a different industry

「土を動かす」仕事から「土を育てる」仕事への参入。
土木のプロフェッショナルが、新たな挑戦の場を選んだのは
トマト栽培でした。

これまでの「造る」経験が、命を育む農業の現場で
どのように花開くのか――

今回は、そんな異色の転身劇だからこそ見えた
農業の面白さ、厳しさをお伝えさせていただきます。

contents

- 02 イントロダクション
- 04 異業種からの参入！
トマトと共に歩む新たな道
NK ファーム特製ナポリタン
- 06 農業委員・推進委員募集記事
事業案内・募集情報
- 08 年間行事

INA Agri Channel



株式会社 中原工業
NKファーム
代表取締役
中原 友春さん



今回のアグリチャンネルでは、異業種である土木工事業から農業参入したNKファームさんへ、農業参入のその後について聞いてみました！

なぜ異業種から農業へ参入しようと考えたのでしょうか？

「私は伊奈町で生まれ育ち、地元へ貢献したいという思いが日ごろから強くありました。そのような中、伊奈町役場の職員から「農家が減ってきていて、担い手がない」と聞き、未経験ではあるけれども、農業に参入することで地元へ貢献できるのではないかと考えようになったことが、就農へのきっかけです。また、建設業の現場は危険を伴い、肉体的にも辛い仕事であり、高齢の従業員に働き続けてもらうには厳しいことから、再雇用の場として農業を活用できるのではないかと考えました。

就農してから今までで、よかったことや大変だなと感じたことはありますか？

「農業は未経験でしたので、最初はわからないことだらけで大変でした。農地を探すことから始まり、設備を整えること、技術を身につけること等、周囲の人に助けて頂きながら日々の作業をコツコツ積み重ねていき、初めてトマトを収穫することが

きた時は、とても感動しました。そして何よりも嬉しいことは買って頂いたお客様に「美味しかった」と言ってもらえた時です。

異業種からの参入だからこそ、見えたものや経験が生きたことはありますか？

「今までは外からでしか農業を見る事が出来ていまして、1つの作業がいかに大切なことなのかを学ぶことができました。そして、それがなかなか消費者にまでは伝わっていないことも感じており、だからこそ私たちは、直売所やイベントでの販売の際に作り手の想いもなるべく伝えることを心掛けています。



経験が生きたことについては、建設業で培った工程管理技術等、計画的に物事を進める意識は農業でも大いに役に立っています。農業においても準備がとても重要で先を見据えて動くことで作

業の効率や品質が安定すると感じています。

また、異業種から参入したことで農業での『当たり前』に捉われず、常に新しいことにチャレンジしていくことが出来ています。今後もこれまでの建設業の経験を生かしつつ、地域の為に農業を続けていきたいです。

販路や製品のアピールについて工夫していることはありますか？

「直売所やスーパー等での販売を中心に、できるだけ取れたての状態で届けることを心掛けています。また、町のイベントやお祭りにも積極的に参加し、販売する際にお客様と直接お話しをすることで、作り手の想いも伝えるようにしています。

このほか、NKトマトのパック等にはキャラクターシールを貼り、お客様の目に留まり、親しみやすいイメージを持っていただけるように工夫しています。



味や見栄えでこだわっているところはありますか？

「365日トマトの状態を徹底管理していて、完熟の状態で収穫しています。」



見た目だけではなく、食べたときに「また食べたい！」と思ってもらえるような味を目指し、子どもから大人まで幅広い世代の方々に食べてもらいたいと思っています。

農業委員になつたきっかけはありますか？

「就農を始めてから2年目を経過した頃にお誘いを受けました。地元農家さんと積極的に交流をしたい、農業全体を盛り上げていきたいという想いがあり、参加させていただきました。」

農業委員として活動して、自身の営農に役立ったことはありますか？

「地域全体の農地や農業の状況を知ることができ、視野が広がったと感じています。他の農家の方との交流も増え、情報交換が日々の営農に役立つ

ています。」

また、農地に関する法律（農地法等）にも触れることが多く、勉強になっています。

新規就農者や就農を

考えている方、若い農業者へ伝えたい思いはありますか？

「最初は不安も多いですが、続けていけば必ず経験が力になります。私達のように未経験、異業種からの参入でも続けていけば、美味しい野菜を作ることが出来るようになります。」

もしわからないことがあれば、一人で悩んで抱え込まずに、周囲の農家さんや、町アグリ推進課に相談しながら、新しいことにどんどんチャレンジしていただきたいと思います。

消費者に伝えたいことはありますか？

「私達のトマトだけではなく、農産物は天候や自然環境に左右されながらも、生産者が1つ1つ手間をかけて育てています。町で地元の農産物を見かけたら、是非お手にとって頂けると嬉しいです。」

最後に、今後の展望について教えてください！

「トマトの安定生産を続けながら、他の野菜の栽培にも積極的にチャレンジし、更に販売先を増やしていきます。町の子どもたちを対象とした収穫体験の実施等、地域に根差した農業を続けていきたいです。」

異業種参入後、町のイベントへの積極的な参加や直売所の設置、NKファームオリジナル製品の開発、はたまた、農業委員会へ参加し、積極的に活動して地域農業の活性化に尽力されているNKファームさんでした！



NKファームHP



NKファーム Instagram

NKファーム特製 ナポリタン

NKトマトソース・ケチャップを贅沢に使ったナポリタンです！

材料(2~3人前)

- ソーセージ..... 2~3本
- ピーマン..... 1/2~1個 お好みで
- 玉ねぎ..... 1/2~1個 お好みで
- ★NKトマトソース..... 1/2瓶
- ★NKトマトケチャップ..... 1/4瓶
- 仕上げ用バター..... お好みで
- パスタ..... 200g



作り方

- ①ソーセージは斜め1cm幅に切る。
- ②玉ねぎは薄切りにする。ピーマンは種を取り除き、縦5mm幅に切る。
- ③フライパンで、ソーセージ・野菜をしんなりするまで炒める。
- ④★の材料を入れて、よく混ぜソースを温める。
- ⑤ゆでたパスタを④のフライパンに入れて、仕上用バターを加え、汁気がなくなるまで、よく炒める。



おいしいトマトの選び方を教えてください！



色が赤く、ハリとツヤがあり、持ったときにずっしり重みを感じるものでお尻にスターマークがあるものがおすすです。ヘタが元気なものも、新鮮な証拠です。

農業委員、農地利用最適化推進委員を募集します

現職の農業委員等が令和8年7月に任期満了を迎えるにあたり、次期農業委員等を以下のとおり募集します。

募集期間：令和8年4月1日(水)～5月1日(金)

応募資格：農業に関する識見を有する方

伊奈町に住所を有する方

平日昼間の会議等に出席できる方

農業委員会法に定める欠格条項に該当しない方

暴力団員その他の反社会的勢力に該当しない方

主な業務：毎月の定例会議、農地の利用最適化活動(農地パトロール等)、研修会やイベント参加など

任期：令和8年7月20日から令和11年7月19日まで(3年間)

報酬：月額16,600円のほか、活動実績に応じた額を別途支給します。

お問い合わせ先：農業委員会事務局

電話番号：048-721-2111



選考にあたって

農業委員は町議会での同意を得て町長から任命されます。なお、応募者数が定数を超えた場合には、伊奈町農業委員候補者評価委員会設置規定に基づき選考を行うこととなります。

農地利用最適化推進委員については、応募者数にかかわらず農業委員会において候補者選考を行い、令和8年7月20日以降に委嘱されます。

また、申込書の内容(住所以外)を、町公式ホームページ及びアグリ推進課窓口で公表させていただきます。

農家の掲示板



農薬の適正な管理を!

農薬を使用する際には、決められた用法・用量を守り、使用後は適正な管理をしましょう。また、近隣への迷惑を避けるよう、散布する時間帯にも注意し、なるべく早朝などに実施するようにしましょう。



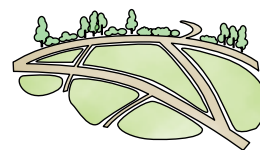
農業者年金への加入を!

農業者が加入できる、積立方式・確定拠出型の安定した終身年金です。保険料は自分で選ぶことができ、いつでも見直しが可能。他にも全額社会保険料控除、保険料の国庫補助など、メリットの多い農業者年金への加入をおすすめしています。



収入保険制度で災害への備えを!

収入全体を対象とした総合的なセーフティネットとして、収入保険がスタートしました。災害や価格低下などでの減収の際、最大9割が補填されます。品目の限定も基本的にはありませんので、幅広い農業経営に対応することが可能です。なお、加入にあたっては青色申告をしていることが必要です。



農地の適正な管理を!

農地の適正な管理は、農地法に定められている農地所有者の義務となっています。休耕地においても定期的に除草を行い、周辺に迷惑がかからないようにしましょう。また、農地法の許可を得ずに、農地を農地以外のものへと転用した場合、3年以下の拘禁刑又は300万円以下の罰金に処される可能性があります。

募集情報

レクリエーション農園について

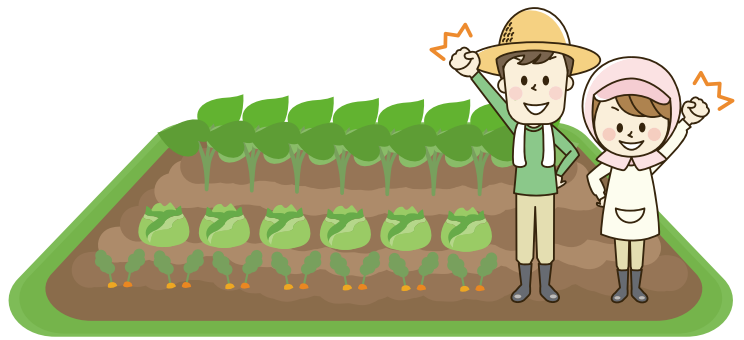
3月2日より、令和8年度のレクリエーション農園入園受付を開始しています。

入園期間：契約日から令和9年2月28日まで

区画面積：1区画約10坪(約33㎡)

入園料：年間5,000円/1区画

農園の空き状況の確認や契約手続はJAさいたま伊奈支店(721-2953)までお問い合わせください。



援農ボランティア

農家での農作業のお手伝いを通し、技術を高めたり、農業への理解を深めることを目的とした制度です。受入先となる農家も同時に募集しています。ボランティアには誰でも登録でき、経験がなくても大歓迎です。お申し込み、お問い合わせはアグリ推進課(721-2111)へ。



米づくり体験教室

田んぼ地帯の真ん中で、昔ながらの方法で田植えと稲刈りを体験する事業です。おいしい空気を吸いながら、農家の気分を味わってみませんか？

実施時期：田植え…6月上旬、

稲刈り…10月上旬

申込開始日：4月6日

申込先：アグリ推進課
(721-2111)



農業体験

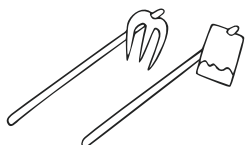
現役農家の指導のもと、定番野菜を栽培して農業に親しむ体験事業です。昨年も大好評をいただき、継続となりました。

申込開始日：8月上旬(定員になり次第終了)

実施場所：役場そばの畑

初回講習日：9月上旬

申込先：アグリ推進課
(721-2111)



9月~
12月

野菜栽培教室



現役農家の指導のもと、さまざまな種類の野菜を栽培して農業に親しむ体験事業です。農家さんに栽培のコツをたくさん教えてもらうことができますので、ぜひ参加してみてください！



10月

米づくり体験教室(稲刈り)



6月に植えたお米を手刈りで収穫できます。収穫したお米は参加者の方にお配りしています♪



11月

文化祭



毎年11月に開催される伊奈町総合文化祭では、農産物共進会と大根直売会や伊奈マルシェを開催しています。共進会では、今後の農業の更なる発展のため、出品された農産物の形状等の審査を行い、入賞者には賞状が授与されます。伊奈マルシェでは、伊奈町の身近な野菜を楽しむイベントとして、地元農家や福祉団体などが出店しています。



アグリ推進課 年間行事予定

5月

バラまつり



毎年5月に開催しているバラまつりの中で、アグリ推進課ブースを設けています。町内の若手農家さんが出店し、新鮮野菜やお米のほか、トマトやブルーベリーのジュース、ジャムなどの加工品も販売しています。



6月

米作り体験教室(田植え)



いな穂街道から望む田んぼ地帯で、昔ながらの方法で田植え体験ができます。おいしい空気を吸いながら、農家の気分を味わってみませんか？



9月

ぶどう収穫体験教室



若手ぶどう農家の塩崎さんが指導して下さり、ぶどうの収穫を体験できる事業です。



いなアグリチャンネル

伊奈町アグリ推進課職員が、伊奈町農業や農業政策のリアルを住民の皆様にお届けするコーナー。これさえ読めばアナタも伊奈町農業のエキスパート！

いなアグリチャンネルアドレス

https://ina-navi.net/article/agri_inamachi



熱血アグリリポーター
アグリ仮面